

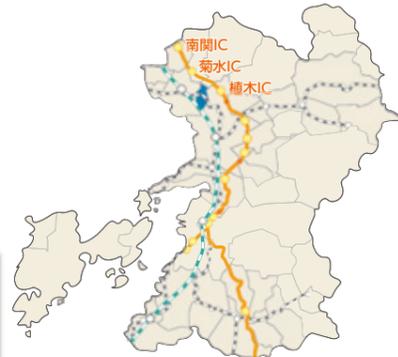
玉東町

総人口…4,951人 男…2,347人 女…2,604人 世帯数…1,885世帯
(人口構成) 15歳未満…14.4% 15～64歳…48.2% 65歳以上…37.4%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



前田 移津行 町長

玉東町は平成の大合併において単独の道を選択した町で、これまでも独自に切り開いた施策を展開して参りました。令和の時代に移った今、社会情勢も目まぐるしいスピードで変貌し行政の対応も複雑化しております。しかし、そのような時代だからこそ「小さくても大きく輝く玉東町」を目指し、町を未来に残すために「挑戦」し続ける必要があります。どうか、当町の取組みに賛同いただき応援していただければ幸いです。



寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額10万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
- ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦 ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー1 産業振興・企業誘致

地域で働きがいのある雇用の場を作りたい

本町は地形的に企業誘致に不利な面があり、大規模な工場等が少なく事業所数の減少も続いています。そのため、若い世代が雇用の場が少ないことを理由に大都市圏へと流出し、少子高齢化につながっています。



町の農業後継者による「ぎょくだん」



カテゴリー2 過疎対策・定住移住

もっと住んでみたい、帰ってきたいと思えるまちへ

玉東町の住宅用地に対する需要は高く、既に完売した町整備の住宅用地を更に加えるなど、新たな移住の場を整備し、ベッドタウンとしての位置付けをより加速させる必要があります。



町で手掛けた住宅整備やマンション建設

玉東町まち・ひと・しごと創生総合戦略

未来のふるさとづくりのために

基本目標

1

稼げるまちをつくり、安心して働けるようにする。

地域資源を活かした産業による雇用創出を図り、若い世代の仕事がないことによる「ふるさと離れ」からの脱却を目指します。

基本目標

2

このまちへ新しいひとの流れをつくる。

居心地のいい、住んでみたい、かえってきたいまちづくり！JR木葉駅を町のシンボルとし賑わいの拠点づくりと駅周辺整備を展開します。

基本目標

3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

子育てに関するニーズは多様化・複雑化している状況で、関係機関がネットワークを構築し切れ目のない支援に取り組みます。

基本目標

4

安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる。

年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もが社会の一員として生きがいを感じながら、安心して暮らす続けることができる地域づくりを目指します。

玉東町

重点プロジェクト

ウクライナ避難民支援からの自立と多文化共生社会をサポート

(SDGs)関連するゴール



総事業費

500万円 寄附目標額 —

数値目標

- 外国人相談窓口設置…………… 100% (玉東町役場内)
- 玉東町内での多文化共生社会推進のため、日本語カフェ実施 …… 12回/年

ウクライナの深刻な状況の続く中、「小さな町でも、できることがある」との思いによりウクライナ避難民を受入れ、経済的支援を始めとする、生活の相談や就学就労のサポートを実施してきました。今後は緊急避難を目的としたウクライナ避難民支援事業から、更なる自立をサポートするためにも、ウクライナ避難民のみの支援ではなく、その他の外国籍住民も含めた支援へと輪を広げ、玉東町を中心とした外国人が住みやすい地域づくりを推進し、子どもからお年寄りまで、様々な文化や、国籍の隔たりを超えた地域の輪を創出します。



玉東町で実施する、日本語カフェの様子

寄附の具体的なメリット

モデルケースとなっている玉東町のウクライナ避難民支援は、全国的にも注目されています。ウクライナ避難民支援を継続する一方で、玉東町で芽生えた支援の輪をこれからも継続する必要があります。今後は、企業で働く外国人等を含む他の外国人住民へも支援の輪を広げ、だれもが活躍できる社会を目指します。

寄附申出書の事業名選択時は「玉東町ウクライナ避難民支援事業及び多文化共生社会促進事業」を選択してください。

重点プロジェクト

駅を中心としたまちづくり

(SDGs)関連するゴール



総事業費

1,000万円 寄附目標額 —

数値目標

- 駅前施設を活用したイベント等の開催 ……5回程度
- 駅前施設来客者数…………… 25%増

近年、JR木葉駅を中心とたまちづくりを進めており、宅地分譲、マンション建設などの独自施策は、大きな成果を残しました。加えて令和6年3月には駅構内にエレベーターを新設するなど、だれもが使いやすい駅周辺を目指しています。

これまでも実施している駅前イルミネーション、駅ピアノコンサートや駅前マルシェなどを継続する他、木葉山を活用したトレッキングツアーやトレイルランなどの体験型観光を行い、町外からの交流・関係人口増と賑わい創出に努めます。



ピアノコンサート&イルミネーションの様子

寄附の具体的なメリット

玉東町は駅を中心とし、交通アクセスに恵まれた町です。加えて、子育て施策や福祉施策に力を入れており、近年は多くの移住者が玉東町に住み始めています。玉東町は、町外へ働きに出る住民が多く、ベッドタウンとしての位置付けが定着しており、多くの企業に勤務する方々にとって住みやすい地域を目指します。

寄附申出書の事業名選択時は「木葉駅前活性化推進事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。